

第 62 期 第 2 回 日本物理学会男女共同参画推進委員会 議事録

日時：2006 年 12 月 26 日（火）14：00～17:00

出席者： 田島節子、田口善弘、中島美帆、野崎光昭、家泰弘、
鳥養映子(ネットコメンテーター)、岡村裕子(事務局)

欠席者： 前田京剛、森初果、有光直子、肥山詠美子、井上順一郎、池内了、初田真知子

議題

I. 報告事項

(1) 委員会会計について報告があった。第 61 期は委員会の開催回数を抑えたことなどが原因で交通費の半分程度が残った。第 62 期は、委員会を 4 回開催するということで、不要となった IUPAP への負担金を除きほぼ前年と同額の予算が承認された。

(2) サブグループ (SG) 報告

広報 SG：委員会ホームページが更新された（中島委員担当）。井上委員が担当となり、学協会連絡会に補助金事業の遂行状況を調査して欲しい旨を提案した。また、男女共同参画委員会だよりを井上委員の文責で執筆し、学会誌に掲載を依頼した。事務的な手続きのミスにより、編集委員会に原稿が渡っていないことが判明したので、再度、掲載依頼をすることになった。

高校生への情報伝達 SG：今年的女子高生夏の学校については、現在報告書作成中。来年の開催分については未定。女子高生春の学校(関西地区、2007 年 3 月)の開催が決定した。本委員会からは、谷田氏（ネットコメンテーター）が実行委員として参加している。

(3) RPD 採択状況について報告があった。申請者 140 名中 30 名採択(18 年度)、212 名中 28 名採択(19 年度)であった。20 年度の募集も行われる予定。

(4) AAPPS-APCTP 共催による Women in Physics 会議に参加した鳥養委員から報告があった。AAPPS との今後の連携をどうするか議論を行った。

(5) 2006 年 12 月 26 日（火）10:00-12:30 に行われた女性研究者支援事業に関する懇話会について報告があった。参加者は 15 名。採用された東北大、お茶大、京大から報告があり、採択後の予算執行についての注意、申請時の留意点など貴重な報告があった。次期募集は 2/19 締め切り。

II. 審議事項

(1) 前回議事録を承認した。委員会ホームページに公開する。

(2) 学協会連絡会のアンケートについては、本委員会は積極的ではないが、メンバー学会の大勢は前向きなので反対はせず、協力を求められたら人員派遣には応じることにした。

(3) アンケート分析サブグループの平田氏から前回アンケート結果の解析を再開する旨連絡があった。分析作業にあらたに加わる田中氏を本委員会のネットコメンテーターに任命す

ることを了承した。

(4) 学協会連絡会運営費の拠出について議論し、年2万円の拠出を了承した。

(5) 来年度の「女子中高校生理系進路選択支援事業」について、学協会主催の夏の学校、春の学校の物理版の開催を申請することも検討したが、当面は見送ることにした。前回、落選した提案書を再度提出するか、或いは女性研究者ロールモデルCDの作製など別の提案をするか、については、鳥養氏と野崎委員とが別途協議することとなった。

(6) 年会(北海道2007年秋)でのシンポジウムの企画を3月の末か4月初頭に開催される次回委員会までに決めておくことにした。(サブグループ担当)

(7) 次回のRPD募集についても、本委員会が応募相談に応じることを再度アナウンスすることとした。物理学会誌に早めに掲載する方法を検討する。(サブグループ担当)

(8) 次回の委員会は、委員の都合を調査し3/31, 4/7, 4/21のいずれかに開催予定。

以上